

黎明館企画展

人々の、
祈りのかたち

古代南九州における

仏教の広がり

①芝原遺跡(南さつま市)出土 多口瓶



②小倉畑遺跡(始良市)出土 香炉



③白檜野遺跡(南さつま市)出土 蔵骨器



①②: 鹿児島県立埋蔵文化財センター蔵 ③: 南さつま市教育委員会蔵

令和7年

9月11日(木)～11月30日(日)

黎明館3階 企画展示室

9:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)・9月25日(木)
※9月15日(日)・10月13日(日)・11月3日(日)・11月24日(日)は開館

入館料 常設展示と共通 一般 430円(320円)／高校・大学生 270円(160円)／小・中学生 160円(90円)
()は20名以上の団体料金／身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の提示のあった方と、その介助者1名は免除
／県内の小中学生、高等学校、特別支援学校の児童生徒とその引率者については、教育課程等に基づく学習活動として入館する場合は免除(要事前申請)／鹿児島県内居住の70歳以上は無料(要身分証)／鹿児島県内居住の18歳以下は土日祝日は無料(要身分証)

県指定
文化財

吹上町田尻の金銅菩薩立像
吹上町御観音講蔵・黎明館保管



日本に仏教が伝来してから約150年後の7世紀後半に、南九州にも仏教が伝わってきます。その時期はちょうど古代律令国家の形成期にあたります。国家による仏教興隆策により全国的に寺院が建立され、火葬の風習とともに蔵骨器（骨壺）も登場してきます。
本企画展では、仏教が南九州へどのように広まり浸透していくのかを、葬送の変化を中心に紹介します。

第1章

仏教が広まる以前の墓 ー南九州の古墳ー

南九州に仏教が伝わってくる以前の、南九州の多様な古墳（前方後円墳・板石積石棺墓・地下式横穴墓・土坑墓）について、墓制や副葬品などを中心に紹介します。



成川式土器 黎明館蔵

第2章

南九州における仏教と寺院

日本に仏教が伝来し、全国に広がっていく過程を『日本書紀』の記事を中心に、また南九州における仏教の展開を『続日本紀』などの資料と薩摩国分寺や大隅国分寺などの瓦とともに紹介します。



薩摩国分寺跡（薩摩川内市）出土
創建時軒先瓦
薩摩川内市川内歴史資料館蔵

第3章

南九州における仏教の広がり ー仏教が広がったあとの葬制ー

薩摩国分寺や大隅国分寺以外の古代寺院は明らかになっていませんが、仏教の痕跡を示すものとして、香炉や多口瓶（仏前に花を供える瓶）、蔵骨器などが発掘されています。仏教の痕跡を示す資料について紹介します。



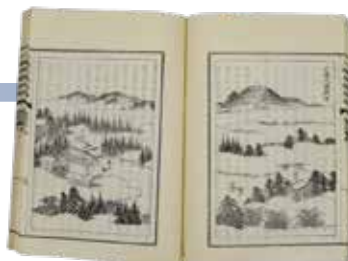
荒瀬（伊佐市）出土蔵骨器
寺師コレクション 黎明館蔵

第4章

古代の伝承寺院

明治初年の廃仏毀釈によって、薩摩藩内の仏教寺院にあった貴重な資料は、ことごとく消失してしまい、現在ではその痕跡をたどることはできません。

しかし、江戸時代後期にまとめられた総合地誌『三国名勝図会』には古代創建を思わせる寺院の記述があり、その一端を紹介します。



『三国名勝図会』
寺師コレクション 黎明館蔵



小苗代（伊佐市）採集瓦
寺師コレクション 黎明館蔵

Events

関連イベント

学芸講座の申込詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。

□ 学芸講座（展示解説講座）

会場：黎明館3階講座室／参加無料、事前申込制（電子申請または往復はがき）
講座後に、企画展示室で展示解説を行います。（要団体入館料）

「古代南九州における仏教の広がり」

講師：黎明館主査 竹添 和寿

日時：11月15日（土）13:30～15:00 [応募期間：10月16日（木）～10月30日（木）]

□ 展示解説

日時：9月21日（日）・10月5日（日）・10月26日（日）・11月29日（土）
各日とも13:30～14:10

会場：黎明館3階 企画展示室 ※ 要入館料、事前申込不要

Annual Passport

年間パスポート

一般	860 円
高校・大学生	540 円
小・中学生	320 円

発行から1年間の有効期間中、何度でも常設展示をご覧ください。



鹿児島県歴史・美術センター黎明館

〒892-0853 鹿児島市城山町 7-2

☎099-222-5100



◎鹿児島空港から鹿児島市行き空港バス「市役所前」下車徒歩7分
◎JR鹿児島駅から徒歩15分
◎市電・バス「市役所前」または「水族館口」下車徒歩7分
◎市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ

駐車場
普通車 125台 バス 20台

